

静岡発「ニユー民藝」清水クルーズ祭りに出店。日本の美しい工芸品の魅力を直接、訪日外国人の皆さまにお届けしました。

うつわ、着物、御刀などの日本の美しい手工芸品を通じて、インバウンドのお客さまと国際交流。日本の美しい暮らしを世界へ。国際クルーズ船が寄港する清水港で、伝統文化との新たな出会いを創出しました。

株式会社ニユー民藝（本社：静岡県静岡市葵区、代表取締役／編集長：小林武尊）は、2026年10月17日に静岡市清水区で開催された「清水クルーズ祭り」に出店いたしました。



ニユー民藝とは

株式会社ニユー民藝は、日本の「美しい暮らし」を取材し、翻訳し、世界に届ける会社です。

古今、洋の東西を問わず人々を魅了してきた陶磁器、漆器、絹織物、着物、古美術、日々のお道具などの手工芸品。そしてお能や、お祭り、和楽器などの伝統の芸能。

これらの文化は、かつては特別なものとしてではなく、私たちのすぐそばにありました。しかし近代化や生活様式の変化とともに、暮らしから少しずつ遠ざかりつつあります。



ニュー民藝が目指すことは、日本の伝統文化と、国内外の人々を「再接続」することです。

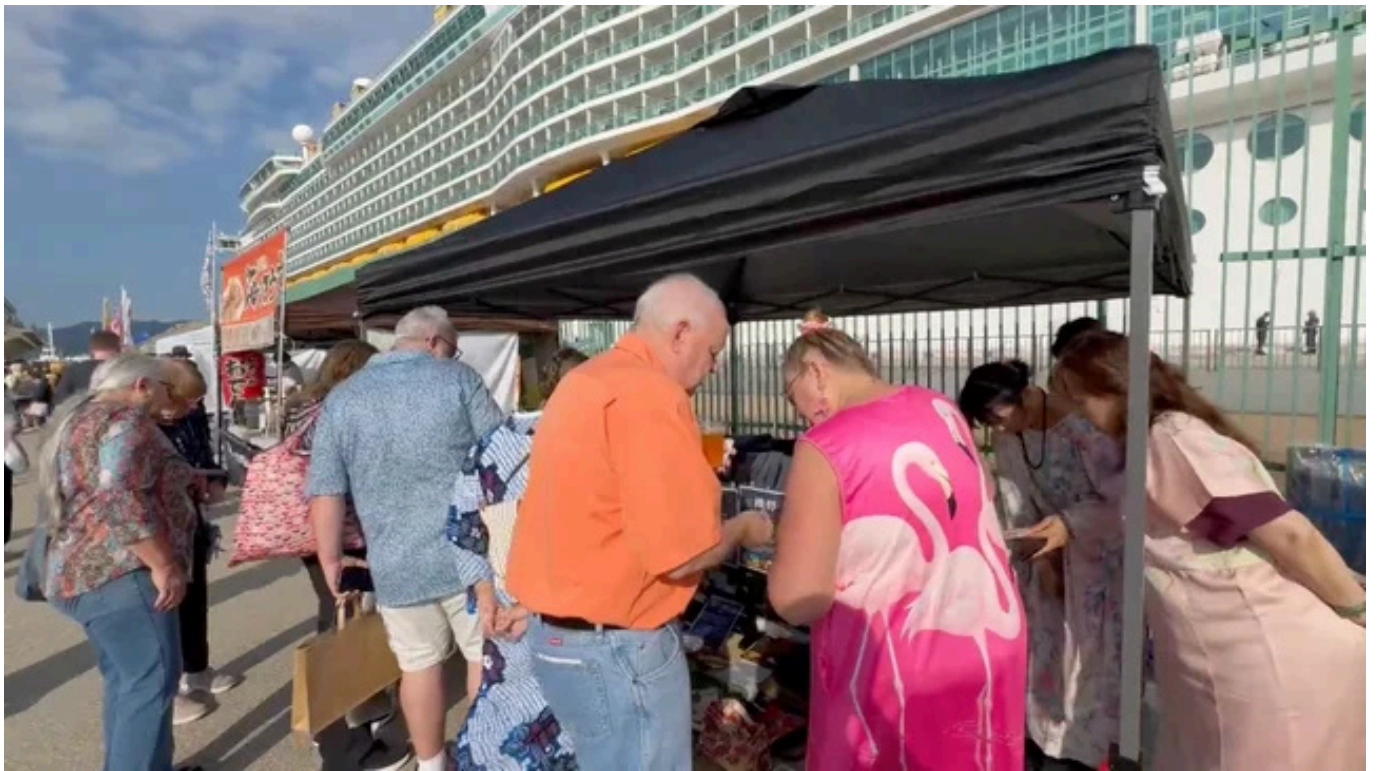
メディア・販売・文化体験という3つの事業を通じて、日本文化との新たな接点を生み出し、文化の保存・振興・継承の一助になりたいと考えております。

その取り組みの一環として、今般清水クルーズ祭りに出店いたしました。

五感を通じて、直接工芸品の魅力や物語を体験していただきました。

今回の出店では、陶磁器や漆器、着物、御刀(模擬刀)、古美術品など、日本の美しい品々を介して、日本文化の奥深さを、お一人お一人にお伝えいたしました。

基本的に展示販売品は、お手に取っていただき、鑑賞していただくこともできます。五感を通じて、その良さを感じていただければと思っております。



今回の出店では、単に工芸品を展示・販売するだけでなく、その背景にある歴史や物語とともにお届けしました。それぞれの品物が生まれた歴史や土地の風土、素材、技法、そのお品が生まれた文化的背景までを一生懸命にご紹介しました。

観賞用の模造刀をお買い求めいただいたカナダのお客様からは、ご帰国後に『美しい日本の品を、自宅に迎えることを楽しみにしています。また日本の刀剣文化(史)についても親切に教えていただき、ニュー・民藝のお二人と出会えたことは日本でのすばらしい思い出の一つです。』と、ありがたいメールをいただきました。



アニメや漫画を通じて、ずっとお着物に憧れをお持ちだったアメリカのお客様は、羽織をお買い求めいただきました。『正絹(シルク)なんですね！驚くほどにスムーズ(なめらか)です。』とのお声もいただきました。

襟を折り返し、羽織紐をつけるなど、正統派の着付けについてもしっかりとお伝えしました。



日本人にとっては見慣れたお品が、実は世界的に見たら日本のモノづくりは『Amazing!』、すなわち驚異的なまでの素材の高い加工技術、美しさ、精神性を持っていると、世界中の文化人・アート蒐集家さまから高く評価されています。

一方で民藝の「用の美」の考え方のように、工藝製品は実際に普段の暮らしにも用いることができます。



日本の美しい工芸品もまた、つくる人（職人さま、文化の継承者さま）と、つかう人（実際に暮らしの中で愛用する方）の双方が育み、受け継いできた文化であると、ニュー民藝では考えております。

素晴らしいもの、美しいものを大事に何世代にもわたって、修理しながら、正しく受け継いでいく。

そうしたサステナブルの先駆けをゆく「用の美」の考え方、美しい日本の暮らしを世界中に伝播したいと考えております。





日々の暮らしの中で愛用し、ファンとなり、いつかは産地を訪れてほしい。

日本の工芸品を、日々の暮らしの中で実際にご愛用いただき、ファンとなって、いつかは産地を訪れていただけたら嬉しいと思っています。

編集長の小林は、土鍋でご飯を炊き、普段から着物を身にまとう、自称「ニュー民藝」な暮らしを営んでおります。浄法寺塗のファンになったのも、毎日の暮らしで愛用するようになってからです。



「工芸品が生まれた土地を訪れてみたい」

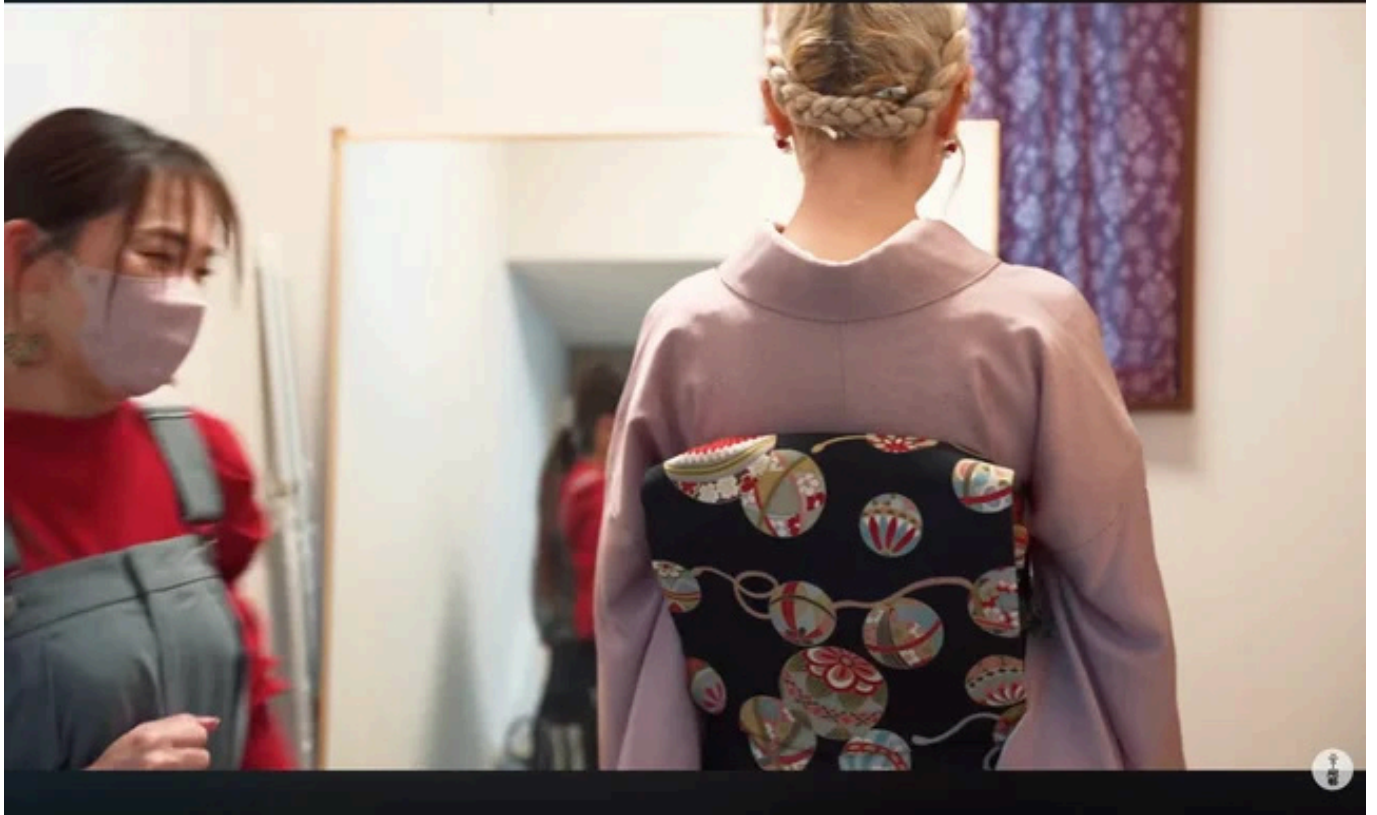
「職人さまに直接会ってみたい」「お仕事を見てみたい」

そういったお気持ちが芽生えたら、次回の訪日観光時に、直接、産地や職人さまを訪ね、その土地の風土や歴史、つくる人の物語に触れる旅をしたくなるかもしれない。

直接職人さまの想いや物語に触れられる体験ツアーも、今後つくっていきたいと考えております。旅行業の免許の取得も目指します。

メディア・販売・体験の事業を通じて、職人さまの仕事や、文化を受け継ぐ営みを支えることにもつながっていければと願っております。





・日本の手仕事を、世界の市場へ。そして次の世代へ。

ニュー民藝では3つの事業を通じて、日本の工芸を、世界中の暮らしや国際的なアート市場へとつないでいくことを目指します。

国内の伝統的工芸品産業では、従事者数が1979年の約28.8万人から2022年度には約4.8万人へ、生産額も1983年の約5,400億円から同年度には約1,050億円へと縮小しております。

一方で、Art BaselとUBSが公表した世界美術市場に関する報告書によれば、2025年の世界の美術品・骨董品市場は約596億米ドルと推計されています。

ニュー民藝は、日本の素晴らしい手仕事をその歴史、職人さまの物語とともに国内外へ届けることで、作り手の仕事と文化の継承を支える新たな市場づくりを目指します。

素材や技法、作品に込められた工夫を丁寧に伝え、その価値に共感する方へ届き、適切に保存され、大切に受け継がれていくこと。

その積み重ねが、職人さまの次の仕事を支え、技術の継承や後継者の育成につながる市場を育てていくことにつながると信じております。私たちは、そんな長く続く関係を、一品一品から結んでいきたいと考えています。

出典：

伝統的工芸品産業振興協会「伝統的工芸品産業の現状」

Art Basel & UBS, The Art Market Report 2026

・ニュー民藝の会社概要

ニュー民藝は、日本の「美しい暮らし」を取材し、翻訳し、世界中に届ける会社です。

ニュー民藝が目指すことは、日本の伝統文化と、国内外の人々を「再接続」することです。

メディア・販売・文化体験という3つの事業を通じて、日本文化との新たな接点を生み出し、文化の保存・振興・継承の一助になりたいと考えております。



こちらのお写真だけ別日のクルーズ船をお見送りするニュー民藝のスタッフです。

日本の美しい暮らしを、世界へ。

清水港での出会いを、一度きりのものにしないために。

今後も静岡を拠点に、国内外の皆さまと日本文化との新たな出会いを生み出してまいります。

今後とも、ご支援・ご取材のほどよろしくお願い申し上げます。

会社名：株式会社ニュー民藝

代表者：代表取締役 小林武尊

所在地：静岡県静岡市葵区昭和町10-4 Sozosya昭和町ビル4階

設立：令和8年8月28日

事業内容：メディア事業、工芸品等の企画・販売、文化体験・ツアー等

公式Webサイト：<https://newmingei.com/>

本件に関するお問い合わせ先

株式会社ニュー民藝

PR担当：小林武尊

takemaru@newmingei.com

株式会社ニュー民藝のプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/190734